

ホームシェア体験ご紹介

2016年4月9日

宮本幸一

HS：ホームシェアの略、学生：同居学生

項目	ホームシェア以前	ホームシェア体験内容
暮らしぶりについて	気ままな一人暮らし	学生の生活時間を尊重し、合わせられる時間を極力同期・調整する。
HSを行った理由	空き部屋の有効活用と淋しい一人暮らしの解消。	
HS取組当初の不安点	相性が合えばうまくやれると楽天的に思っていたので、不安なし。	
団欒の過ごし方	ひと月1回くらい帰宅する子供との団欒以外、独り暮らしのため団欒無し。	学生と一緒に朝夕の食事及びお茶するときの楽しい団欒急増。
外出行動	特に変化なく同居後もマイペース。出張の時は、同居学生に留守居番も依頼して安心。半年以上同居してきた学生は、長い不在も了解！！	
掃除のルール	学生の専用使用部（個室、トイレ）は、学生が掃除。（頻度は学生判断）	
洗濯のルール	各自自分の衣類の洗濯をする。	
炊事のルール	週1回は、夕食を学生が作る、それ以外の一緒に食事できる朝夕食は、主としてシニアが準備、サラダは学生が作っている。食器の片づけは各自。	
ルールなどの決め方	NPOリブ&リブのルール及び2人の話し合い。	
シェアメイトとの連絡手段	メール、電話。	
生活に関する違いのギャップを感じた状況	学生が夜型の生活時間であることは、小生の子供と同じで、ギャップを承知していた。共有の場所や物を使った後には、元通りに戻すという原則（後片付け）が、不十分という点は、小生と同じなので、ギャップを感じない。その他でギャップを感じさせない学生は特殊な若者のようです。	
HSを経て、自身に関する変化	一人暮らしの気ままな生活だったのが、同居人を尊重する気遣いは、煩わしいと感じる部分もないことはないが、若者のパワーを頂いて毎日が張りのある一層楽しい生活になりました。 音楽学生に助けられて、ピアノで歌の練習ができて一層楽しい。	

約1年間のホームシェア体験の結論：

前途洋々の好青年と人生の一こまを共有できて、最高に幸せです。